

▼市長賞 長瀬 みえ「トワイライト」



▼市長賞 大庭 光子「王者コンドルに魅せられて」



▶大賞 木村 富廣「下心II」



●文芸部門

大賞 短歌 長田 和子

「空港の草地に咲けるねじ花の
螺旋の先に昇る飛行機」

市長賞 俳句 小田 晴美

「蜻蛉湧きまだ泣いてゐる負け投手」

- ①川柳 木嶋 愛子
- ②短歌 赤木 則夫
- ③俳句 田村 晋

【小中学生川柳の部】

- 石本 龍一郎(木屋川中学校1年)
- 八嶋 真輝(川棚小学校4年)
- 吉富 柗寿(岡枝小学校6年)
- 稲田 磨姫(菊川中学校1年)
- 高橋 蒼都(豊東小学校3年)

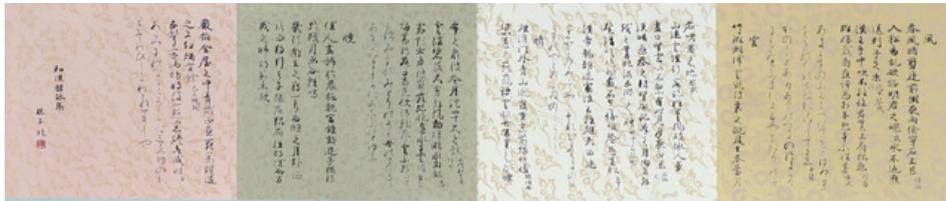
芸術文化祭

市芸術文化祭の各部門の入賞者と、芸術文化振興奨励賞の受賞者を紹介します

【各賞の内訳】

- ①市議会議長賞 ②教育長賞 ③市文化連合会長賞 ④市文化協会会長賞 ⑤菊川文化協会会長賞 ⑥豊田文化協会会長賞 ⑦豊浦文化協会会長賞 ⑧豊北文化協会会長賞

▼市長賞 田口 勝子「御物と漢朗詠集」



美術部門(彫刻)
武田 充生さん

武田さんは、高校2年の時、粘土で作った作品が学展で入賞します。その後、東京藝術大学彫刻科に進学。卒業後は同大学で講師として指導を行っていましたが、第26回UBEビエンナーレでの島根県立石見美術館賞受賞を機に講師を辞め、彫刻家として生きていくことを決意しました。

作品は石彫刻と呼ばれるもので、リフレッシュパーク豊浦にも展示されています。「とにかく芸術は自由なもの。難しく考えずに、単純に面白いが、面白くないか。そんな視点で私の作品も見てもらえると嬉しいです」と武田さん。近年では「表現する楽しさ」を子どもたちに伝えるワークショップを開催するなど、多岐にわたり活躍しています。

田村さんは、幼稚園のころにピアノを始め、高校も音楽科に入学。「高校ではレッスンを受けた先生のおかげでピアノのすごさに気付かれ、格段に楽しくなりました」と田村さん。国立音楽大学の器楽科ピアノ専攻を卒業後、下関にて、ピアノ教室を始めます。教室ではコーラス、合唱の指導も行います。

「音楽は生み出した直後から消えてしまう芸術。例えばf(フォルテ)といっても、それは音の大きさですが、夏の太陽を浴びた音というように、何をイメージして音を出すかによって、その音色が変わります。技術的なことよりも、想像力、表現力を身に付けることが大事だと思います」

音楽部門(ピアノ)

田村 優子さん



稲田さんがバレエを始めたのは4歳のころ。「とにかく踊ることが楽しくて、熱を出してもバレエを休むことはなかったですね」と笑顔で語る稲田さん。

20歳のころ、現在講師を務めるAYAKOモダンバレエスタジオに入所。その後、33歳で同スタジオを引き継ぎました。稲田さんは「子どもたちには、基礎を徹底して教えています。子どもたちが将来、プロとして舞台人を志したときに、恥ずかしくないようなバレエを意識して指導しています」と話します。

教室でのレッスンのほか、オペラ作品への振り付けの提供や日本舞踊との共演など幅広く活動しています。「これからも、さまざまな活動を通じて、バレエの素晴らしさを伝えていきたいですね」

芸術部門(モダンバレエ) 稲田 佳代さん



芸術文化振興奨励賞

芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続けている市内の将来性のある個人、団体に授与するもの